

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
- 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- 本書のご提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
- 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- 一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

商品名 スチームアイロン				★お買い上げ日： 年 月 日	
型番	KAJ-IS120A-A	品番	08-3251	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)	
お客様	フリガナ ★お名前 様				
	★ご住所 〒 ー				
	電話 ()				
修理メモ					
販売店	★住所 店名 電話				
	Ⓔ				

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735	
電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センター へ	
電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

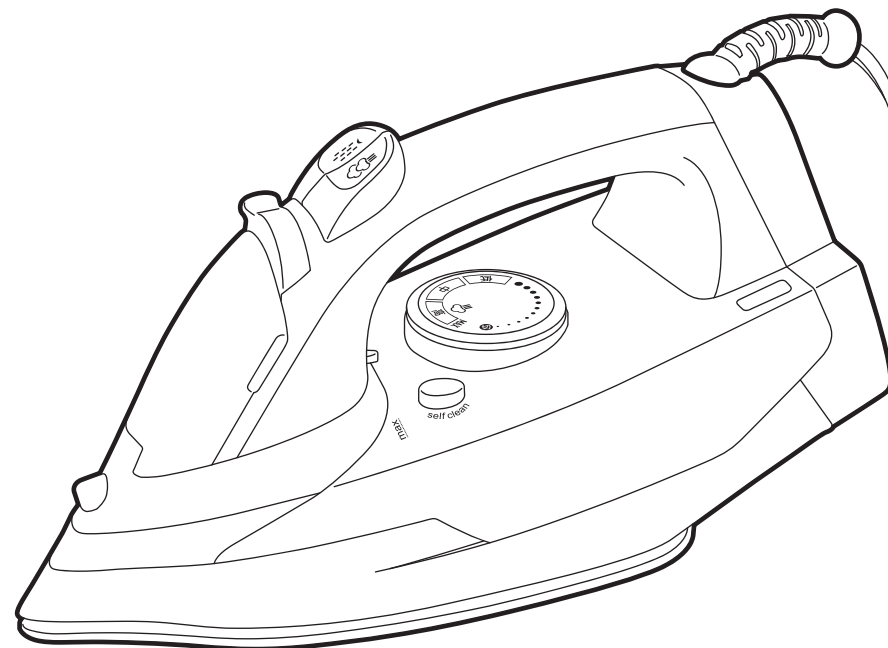
OHM

スチームアイロン

保証書付取扱説明書

型番：**KAJ-IS120A-A** 品番：**08-3251**

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前には必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、正しくお使いください。
この説明書は、ご使用になるお客様が大切に保管してください。



必ずお読みください

安全上のご注意

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
記載事項をお守りいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

●表示について:表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一部です)

	禁止	この図記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	指示	この図記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告			
必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	電源プラグを抜く	お手入れのときは必ず電源を切り電源プラグを抜き、必ず本体(かけ面など)が冷めてから行う。 けがや感電のおそれがあります。
	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 湿気などで絶縁不良となり、火災や感電のおそれがあります。	ぬれ手禁止	電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。 感電事故の原因となることがあります。
電源プラグを抜く	発熱、発煙、異臭、異音、異物混入など異常があった場合はコンセントから電源プラグを抜く。 火災や感電のおそれがあります。使用を中止して販売店または弊社お客様相談室まで修理を依頼してください。	水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしない。 ショートによる故障・感電・火災のおそれがあります。
	使用しないときはコンセントから電源プラグを抜く。 思わぬ事故や、けがの原因となることがあります。	分解禁止	お客様ご自身での分解、改造、修理はしない。 火災や感電、けがのおそれがあります。販売店または弊社お客様相談室までご相談ください。ご自身で分解、改造、修理を行った場合は保証の対象となりません。
	電源プラグを抜くときはコードを持たずに必ず電源プラグを持つ。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。	指示に従う	使用時以外や給排水時は電源プラグを抜く 感電や火災の原因になります。

必ず守る	電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う。 交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用したり、延長コードを使用すると発熱による火災の原因になります。	禁止	浴室、温室などの高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない。 ショートによる感電や火災、やけどの原因になります。
禁止	電源コードを本体に巻きつけたまま収納しない。 コードが断線して、ショートによる感電や発火の原因になります。		使用中や使用直後は、高温部(かけ面、注水タンク下部)やスチームに手を触れない。 やけどの原因になります。
	電源コードに重い物を載せたり、無理に折り曲げたり、束ねたり、引っ張ったりしない。 火災や感電のおそれがあります。		かけ面やスチームを人に向けて使わない。スチームを顔、手、ひざなど、身体にあてない。着用したまま衣類にかけない。 湯滴が出て、やけどの原因になります。
	故障や一部破損した状態で使用しない。 けがや感電のおそれがあります。		落としたり、ぶつけたりしない。 ショートによる発火や感電、故障の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。 感電やショートによる発火の原因となることがあります。		カーテンなど可燃物の近くで使用しない。 火災のおそれがあります。
	本体を水洗いしない、水濡れ禁止。ぬれた手で使用しない。蛇口から直接給水しない。 ショートによる感電や火災、やけどの原因になります。		火気の近くや油のかかる場所で使用しない。 火災や感電のおそれがあります。
			お子様だけのご使用や、お子様の手の届く場所で使用しない。 けがややけど、感電のおそれがあります。

注意			
必ず守る	アイロンは、安定した平らな所に立てて置く。 かけ面が熱くなっているときに転倒すると、火災ややけどの原因になります。また毛足の長い敷物や不安定な所に置くと転倒して、敷物の損傷、けがの原因になります。	禁止	水道水以外の水を注水タンクに入れない。 衣類が変色する原因になります。
	スチームで使用するときは、必ずスチームの範囲内で使う。 かけ面の温度が低いと湯滴が出て、やけどの原因になります。		本体近くで可燃性ガス(ベンジンなど)が発生するものを使用しない。 火災の原因になります。
	ボタン、ファスナーなどの固いものにはアイロンをかけない。 かけ面に傷がつく原因となります。		本体内部にピンや針金などを入れない。衣類に縫い針などを刺したまま、スチームをあてない。 本体内部に入り、発火の原因になります。
	コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してパワースチームをかける。 衣類を傷める原因になります。		パワースチームボタンを連続して押さない。パイロットランプが消灯してから使用する。 湯滴が出て、やけどの原因になります。
	高級品や特殊加工品などには目立たないところに試しかけをする(ベルベット、アクリルナイロン、カシミアなど)。 衣類を傷める原因になります。		注水タンクに水を入れたまま逆さまにしたり、前後に激しく動かさない。 水漏れしたり、湯滴が出てやけどや故障の原因になります。
使用上のご注意	使用後は必ず排水する。 注水タンクに水が残っているとお湯が漏れ、やけどの原因になります。排水の後に水滴が残ることがありますが、問題はありません。		衣類の絵表示より高い温度目盛でアイロンをかけをしない。 布地を傷める原因になります。
			本製品を他の用途で使用しない。 やけどや火災の原因になります。 本品は、繊維専用です。 本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

●スプレーのりは成分にシリコン系が配合されたものを使用し、「ドライアイロン」で仕上げる。
シリコン系が配合されていないのりを使用したときは、かけ面にのりが付着して茶色く変色し、すべりが悪くなります。かけ面のお手入れをしてください。(P9参照) かけ面にのりがついていると、衣類の汚れの原因になります。

●アップリケや接着芯などを接着するときは必ず「あて布」をしてください。
温度目盛を「高」にし、スチーム切り替えレバーを「ドライ」にして、必ず「あて布」をしてください。説明書が添付されているときは、その説明書にしたがってください。

各部の名称

スチーム切り替えレバー

・ドライ「0」
・スチーム「1」「2」



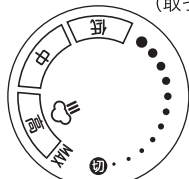
パワースチーム
ボタン

スプレーボタン
(霧吹き)

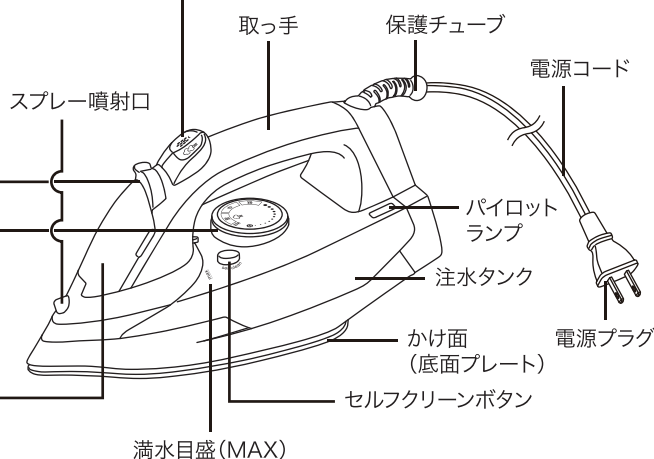
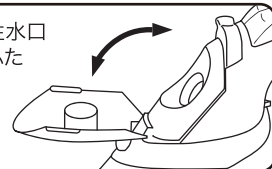
給水カップ
(付属品)

温度設定ダイヤル

→ 合わせ位置
(取っ手内側)



注水口
ふた



使用する前に

- パワースチームご使用以外は、必ずアイロン台の上でお使いください。
- 温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、パイロットランプが一度点灯したあと、再び消灯してからお使いください。
- スチームアイロンとしてお使いになるときは、温度設定をスチームマーク「☁」に合わせてください。
- 衣類のラベルに記載された「取り扱い表示」に従って、アイロンをかけます。
- 「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

衣類の絵表示の見かた



底面温度110℃を限度として
スチームなしでアイロン仕上げできる



底面温度150℃を限度として
アイロン仕上げできる

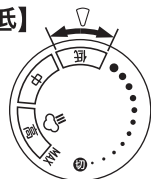


底面温度200℃を限度として
アイロン仕上げできる



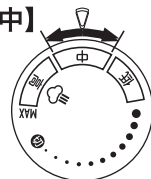
アイロンがけできません。

【低】



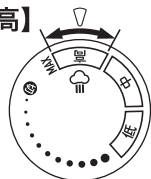
・アクリル
・アクリル系
・ビニリデン
・ポリウレタン
・ポリピロピレン

【中】



・絹・毛・ナイロン
・ビニロン・レーヨン
・キュプラ・アセテート
・ポリエステル

【高】



・綿
・麻

使用する前に (つづき)

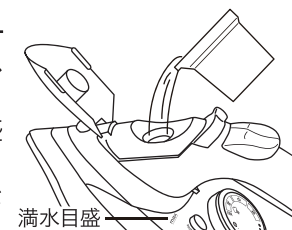
- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせて温度設定してください。
- 混紡の場合は、温度設定の低い方の繊維に合わせてください。
- 使用中、アイロンを止めたり、極端にゆっくり動かし続けると、布地に合った温度目盛でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維(化繊・絹・毛など)にアイロンをかけるときは「試しがけ」をするか「あて布」をしてください。
- アイロン台の表面に湿り気を与えてアイロンがけをしないでください。

使用方法

1.注水タンクに水を入れる

※注水タンクに若干の水滴が付着している場合がありますが、スチーム検査を行なっている為で異常ではありません。

- 注水口ふたを開け、付属の給水カップを使用して、満水目盛 (MAX) の位置まで水を注ぎます。その後注水口ふたを閉めます。
- ※ドライアイロンとしてお使いになるときは、注水タンクに水を入れる必要はありません。



注意

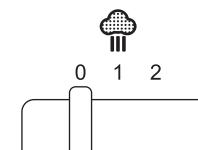
- 蛇口から直接水を入れないでください。
- 注水口以外に水がかかった場合は、乾いた布等で拭き取ってください。
- 満水目盛 (MAX) 以上の水は入れないでください。あふれたり漏れたりします。
- 注水タンクには、水道水を入れてください。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、リネンウォーターなどの香料を含んだ水は入れないでください。
- パワースチーム・スプレーを使用するときは、注水タンクに水が1/4以上入っている状態にしてください。

2.電源プラグをコンセントに差し込む

3.アイロンをかける

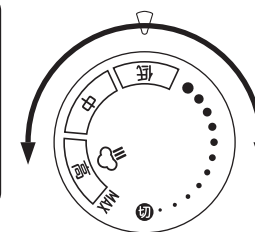
ドライアイロン

- ①スチーム切り替えレバーを「0」に設定する。
 - ②温度設定ダイヤルを布地に適した温度に設定する。
- ※通電が始まり、パイロットランプが点灯します。設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。



注意

- 温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合、かけ面が冷めにくいいため適温になるまで時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、消灯してから使用してください。
- 混紡の場合は、低い方の布地に合わせて温度設定をしてください。



- ③パイロットランプが消灯したらアイロンを使用する。

使用方法 (つづき)

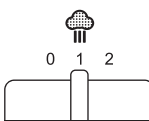
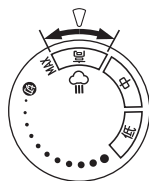
スチームアイロン

- ①温度設定ダイヤルを回して、目盛合わせ位置を「高」に合わせます。
※通電が始まり、パイロットランプが点灯します。設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。
- ②パイロットランプが消灯したら、スチーム切り替えレバーを「1」または「2」に設定する。

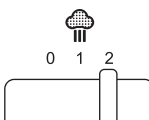


- 使い始めのうちは、スチームが出るまで時間がかかることがあります。
- スチームの出が悪いときは、スチーム切替レバーを左右に数回切り替えてください。

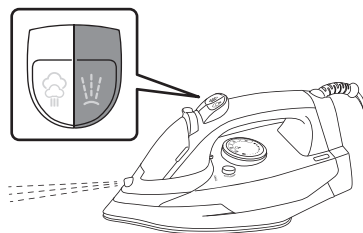
- ③アイロンを水平にして、スチームアイロンを使用する。スチーム噴出口からスチームが噴出します。



【ハーフスチーム「1」】
薄手の布の仕上げに



【スチーム「2」】
厚手の布や綿、麻などの
仕上げに



スプレー(霧吹き)

- ①アイロンを水平にし、衣類から10cm程度離して、スプレーボタン「☼」を押します。スプレー噴射口から水が噴出します。
- ※スプレーは、スチーム切り替えレバーがどの位置でも使用できます。

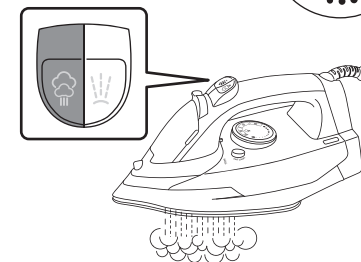


- 目立たないところで試しがけをしてから使用してください。
- スプレーを初めてお使いになるときは、数回空噴きしてからご使用ください。

使用方法 (つづき)

パワースチーム

- ①温度設定ダイヤルを「高」にする。通電が始まり、パイロットランプが点灯します。設定温度に達すると、パイロットランプが消灯します。
- ②パワースチームボタン「☼」を押すと(約3～5秒間隔をあける)スチーム噴出口からスチームが噴出します。

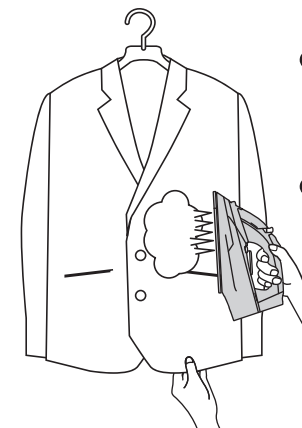


【全体を仕上げるときに】
アイロンを水平にして使う
(例)セーター



- 全体仕上げ
パワースチームを全体にかけて形を整えます。
- 伸びきった袖口やゴム編み部分
パワースチームをたっぷりかけて、縦方向に軽く引っ張りながら整えます。

【ハンガーに掛けた衣類のシワ伸ばしに】
アイロンを立てて使う
(例)背広/コート



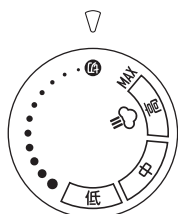
- ハンガーに掛けたままの衣類に
衣類のすそを持ち、たて方向に軽く引っ張りながら整えます。
- コートや毛足の長い衣類
パワースチームをかけた後、水分を残さないようお手持ちのブラシで、毛足を整えます。

パワースチームおよびスチームを使用する場合、以下の点にご注意ください。

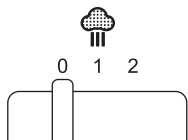
- 初めてお使いになるときは、スチームからにおいがすることがありますが、ご使用とともになくなります。
- かけ面の温度が上がらないうち(パイロットランプが消灯しないうち)、または温度設定ダイヤルを「高」より低い温度に設定した場合は、スチーム噴出口から水や熱湯が噴き出すことがありますのでご注意ください。
- アイロンは逆さまにしないでください。水や熱湯がこぼれて、やけどをしたり、衣類を汚したりすることがあります。
- 人に向けたり着用した衣類にパワースチームをしないでください。

使用方法 (つづき)

〔4.温度設定ダイヤルを「切」に、スチーム切り替えレバーを「0」にする



温度設定ダイヤル



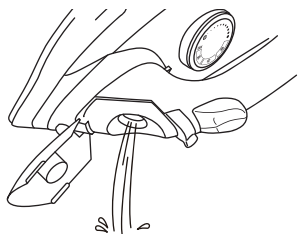
スチーム切り替えレバー

〔5.電源プラグをコンセントから抜く

- 電源プラグを持ってコンセントから抜きます。

〔6.注水タンクの水を捨てる

- 注水口ふたを開け、本体を逆さにして注水タンクに残った水を捨てます。捨て終わったら、注水口ふたを閉じます。



注意

- 内部に残った水は、必ず捨ててください。本体内部の変色や臭いの原因になります。
- 冷めてから排水したときは、温度設定ダイヤルを「高」に設定し、スチーム切り替えレバーを「0」に設定して、約5分間通電して乾燥させてください。

〔7.安全な場所に立てて保管する

- 本体やかかけ面が十分に冷めてから、平らで安全な場所に立てて保管してください。



注意

- ご使用にならない場合は、必ずスチーム切り替えレバーを「0」の位置に合わせてください。「1」または「2」の位置にあると、注水タンクに残った水が漏れるおそれがあります。

上手な使い方

〔スプレーのり・洗濯のりなどを使うとき

【スプレーのりなどの仕上げ剤】

- 洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、必ず「ドライ」でアイロンがけをしてください。
- 少しかために仕上げたいときは、「スプレーのり→アイロンがけ(ドライ)」を繰り返します。一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面にこびり付く原因になります。かけ面にのりが付着した場合はその都度お手入れをしてください。(P9参照)

【洗濯のり付けをした生乾きの衣類】

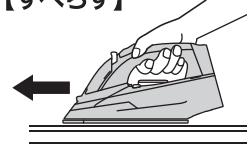
- 「ドライ」でアイロンがけをしてください。

【接着芯地(裾上げテープ)など、のりが付いているもの】

- 必ず「あて布」をして、アイロンがけをしてください。

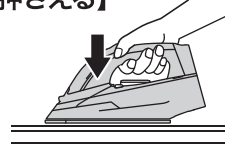
〔アイロンがけのポイント

【すべらす】



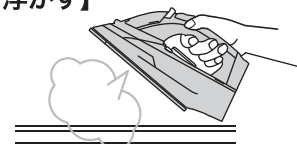
必要以上の力をかけずに、衣類の上を軽くすべらせる。

【押さえる】



折り目ははっきりつけたい所や、がんこなシワの部分はしっかり押さえる。

【浮かす】



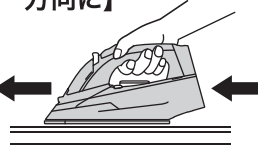
毛足の長いウール繊維の仕上げや、こみ入ったデザイン部分の仕上げに。

【両手を使う】



空いた方の手で布地を引っ張り、アイロンを持ち替えたりまんべんなく。

【一方向に】



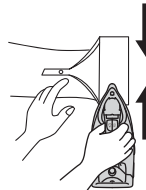
往復させたり、無理な方向にかけると、戻りシワができます。

【ぬい目は引っ張り気味に】



細かいシワが残らないように片方の手で引っ張り気味に。

【カフス】



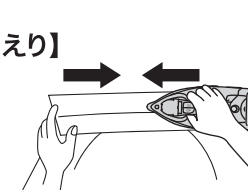
裏からアイロンをかけます。ぬい目を引っ張りながら、中心に向かってかけます。

【肩・ヨーク】



アイロン台の先端を使ってかけます。

【えり】



ぬい目を引っ張りながら中心に向かってかけます。

お手入れのしかた

安全のため、電源プラグを抜き本体・周辺が冷めてから行ってください。

各部のお手入れの際、金属製・ナイロン製のたわしや、みがき粉、ベンジン、シンナー、漂白剤などを使用しないでください。

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときは、台所用中性洗剤を薄めたやわらかい布で汚れをふき取ってください。
- 樹脂部分は強くこすらないでください。傷が付く原因になることがあります。

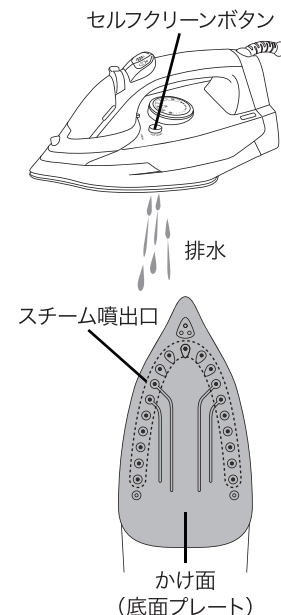
かけ面／スチーム噴出口のお手入れ

- 頑固な汚れには、よくぬらしたタオルの上にアイロンが冷めた状態でかけ面を下にして、1時間ほど置き、汚れをふやかし、その後、かたく絞った布でよくふき取ってください。
- かけ面に付着したのりなどの汚れは、かけ面が完全に冷めてからぬるま湯か台所用中性洗剤を浸して固くしぼった柔らかい布でふきとってください。
- スプレーのりなどを使用した後は、必ずかけ面のお手入れをしてください。
- お使いになった後はなるべく早くお手入れをしてください。
そのまま放置すると、汚れがとりにくくなり布地を汚すおそれがあります。また、かけ面に汚れが付いているとすべりが悪くなります。

お手入れのしかた (つづき)

セルフクリーン機能を使う

- かけ面(底面プレート)内部の汚れを取り除くため、約2週間に1回の目安でおこなってください。
 - ①スチーム切り替えレバーをドライに合わせます。
 - ②注水タンクの満水目盛まで水を注ぎます。
 - ③電源プラグをコンセントに差し込んで、温度設定ダイヤルを「高」MAXの位置にセットし、アイロンを立てた状態で、パイロットランプが消えるまで待ちます。
 - ④パイロットランプが消えてから、温度設定ダイヤルを「切」にセットし、アイロンの電源プラグを抜いて、すぐに流し台などの上で水平に持ち、セルフクリーンボタンを押しながら、お湯と汚れをかけ面(底面プレート)から排出させます。セルフクリーンボタンを押している間は、かけ面からスチームや湯滴が出つづけます。スチームや湯滴が出なくなったらセルフクリーン完了です。
- セルフクリーン機能のお湯と汚れは、かけ面のスチーム噴出口から排出します。(その際やけどにご注意ください。)
- セルフクリーン機能を使用した後は、必ずかけ面を乾燥させてください。
 - ①スチーム切り替えレバーをドライに合わせます。
 - ②電源プラグをコンセントに差し込んで、アイロンを立て、温度設定ダイヤルを「高」にセットします。
 - ③かけ面からスチームが出なくなるまで乾燥させてください。その際は絶対にその場を離れないでください。事故や火災の原因になります。



- セルフクリーンボタンを押してから、約10～20秒はスチームのみ出ますが、その後かけ面からお湯と汚れが排出します。
- 注水タンク内の水が全部排出するまで待てない場合や、排出した水がそれほど汚れていない場合は途中で停止しても洗浄効果が得られます。
- 水圧が原因で、セルフクリーン排水の最後は注水タンクに若干水が残りますが異常ではありません。残りの水は注水口から排水してください。

故障かなと思ったら

症 状	原 因	対 策
熱くならない。	●電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていない。	◎電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
スチームが出ない。 スプレーが出ない。	●注水タンクの水が無くなっている。	◎注水タンクに満水まで水を入れてください。
	●スチーム切り替えレバーが「0」の位置になっている。	◎スチーム切り替えレバーを「1」もしくは「2」の位置に合わせてください。
	●温度設定ダイヤルが「高」ではない。	◎温度設定ダイヤルを「高」に合わせてください。
	●スプレー噴射口に水アカがつまっている。	◎つまようじなどで噴射口のつまりを取り除いてください。
	●通電直後に使用している。	◎パイロットランプが点灯している時は、消灯するまで待ってください。
水漏れ・湯滴がでる。	●低い温度でスチームを使用している。	◎温度設定ダイヤルを適温に合わせてください。(P5参照)
	●連続してパワースチームボタンを押している。	◎温度設定ダイヤルを「高」の位置でパイロットランプが一度点灯し、消灯してから押してください。
アイロンをかけると 布地が焦げる。	●布地にあった温度に設定していない。	◎温度設定を適温にあわせるか、あて布をしてください。
	●温度設定ダイヤルを高い温度から低い温度に変えた直後に使っている。	◎かけ面が冷めにくいいため、温度が下がるのに時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。
アイロンをかけると 衣類が汚れる。	●きれいな水を使用していない。	◎水を入れるときは、きれいな容器を使用してください。ジュースなどが残っている容器に入れた水を使用すると、衣類を汚す原因になります。(P4参照)
	●かけ面内部や注水タンクの水が汚れてる。	◎かけ面やスチーム噴出口の汚れやごみを取り除いてください。
		◎きれいな水を使うか、セルフクリーンを行ってください。
スチーム使用時に 白い粉が出る。	●水に含まれるカルシウムなどのミネラル成分が出たもので、異常ではない。	◎スチームをお使いになる前に、不用品な布の上で数回パワーボタンを押してからご使用ください。衣類に付着した場合は払っていただくと取れます。

上記の点検または処置をしても異常が直らなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターへご連絡ください。

仕様

商 品 名	スチームアイロン		
定 格 電 圧	AC100V 50/60Hz	定格消費電力	最大1200W
質 量	(約)980g	コ ー ド 長	(約)2.0m
か け 面 面 積	(約)190.5cm ²	種 類	スチーム、ドライ兼用
本 体 置 き 方	自立式	蒸気発生方式	滴下式
自動温度調節器	設定温度(約)70℃～(約)200℃		
温度過昇防止装置	温度ヒューズ240℃		
本 体 寸 法	(約)幅282×高さ140×奥行120mm		
注水タンク容量	(約)250mL(max.まで)		
付 属 品	給水カップ・保証書付取扱説明書		

※製品改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
※型番、品番は器具本体に貼ってあるラベルをご参照ください。